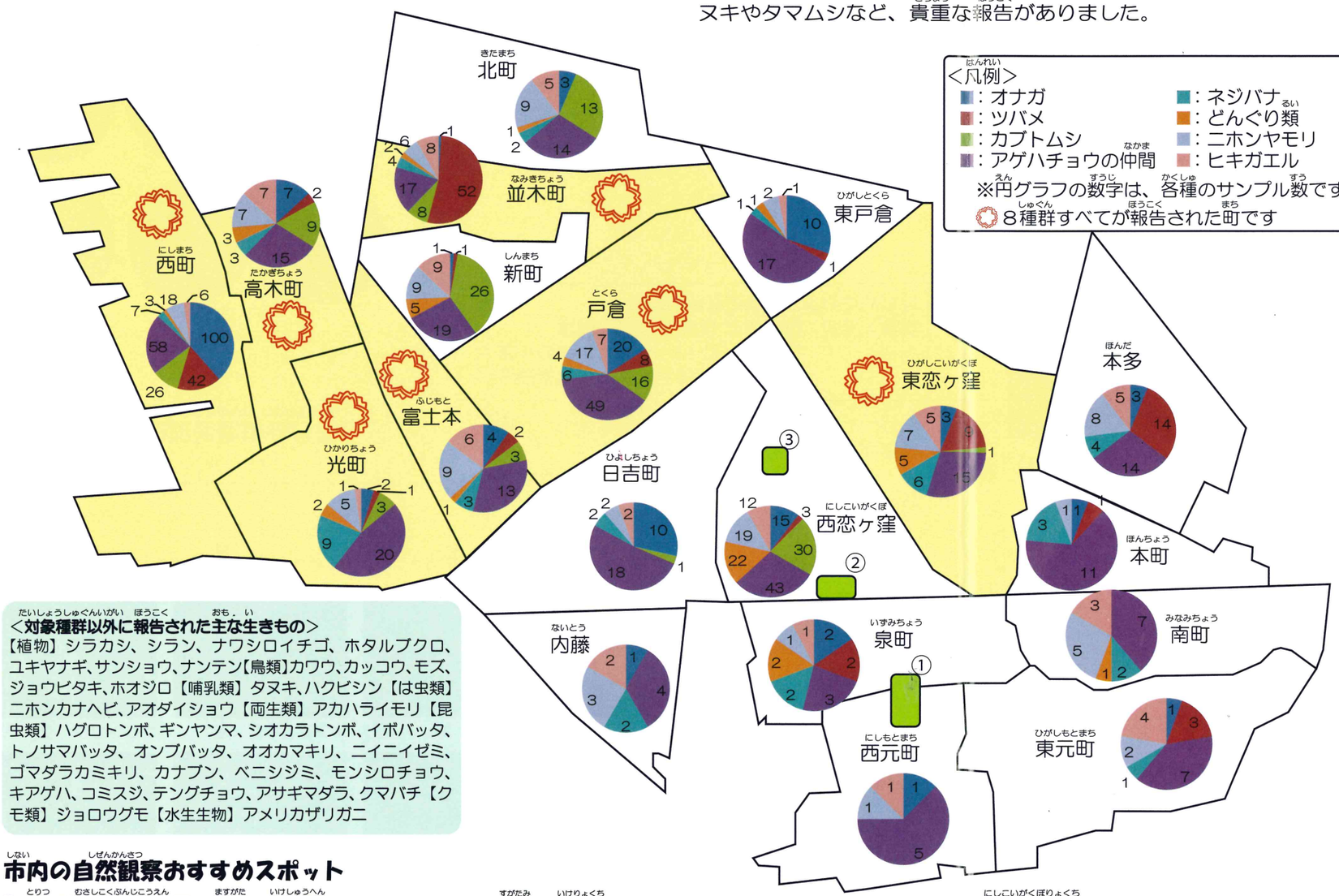
国分寺市生きものマップ
～身近な生きものさがし結果報告～

平成27年度に行った「身近な生きものさがし」では、市民の方々に、8種群の生きものを中心に調査していただき、4,436サンプルの報告が集まりました。

最も報告が多かったのはアゲハチョウの仲間、ついでオナガ、カブトムシ、ツバメとなっていました。対象種群以外にも、ホンドタヌキやタマムシなど、貴重な報告がありました。



＜対象種群以外に報告された主な生きもの＞
【植物】シラカシ、シラン、ナワシロイチゴ、ホタルブクロ、ユキヤナギ、サンショウ、ナンテン【鳥類】カワウ、カッコウ、モズ、ジョウビタキ、ホオジロ【哺乳類】タヌキ、ハクビシン【は虫類】ニホンカナヘビ、アオダイショウ【両生類】アカハライモリ【昆虫類】ハグロトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、イボバッタ、トノサマバッタ、オンブバッタ、オオカマキリ、ニイニイゼミ、ゴマダラカミキリ、カナブン、ベニシジミ、モンシロチョウ、キアゲハ、コミスジ、テングチョウ、アサギマダラ、クマバチ【クモ類】ジョロウグモ【水生生物】アメリカザリガニ

市内の自然観察おすすめスポット

①都立武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

公園の南側の国分寺崖線は、野鳥の森があり、多くの野鳥や昆虫が観察できます。公園の池には、カルガモやトンボ類が見られます。また、バッタなどの生息する草地もあります。

真姿の池湧水群からの流れでは、初夏にオニヤンマも見られます。

②姿見の池緑地

姿見の池には、トンボやアメンボなどの昆虫や、カルガモやアオサギなどの水鳥が観察できます。カワセミがやってくることもあります。中央線沿いの雑木林には、春から秋にかけて、季節の花が見られます。早春には、池の中にヒキガエルの卵が見つかります。

③西恋ヶ窪緑地

通称エックス山。市内最大の雑木林です。夏にはカブトムシやカナブン、クワガタなどの昆虫が樹液に集まります。葉の落ちた冬の林では、シジュウカラやコゲラなどの小鳥たちの姿も観察できます。

第1位　アゲハチョウの仲間（387サンプル）
すべての町から報告され、サンプル数も2位のオナガの倍近い数でした。大型のチョウのため、見つけやすかったのかもしれません。市内にはアゲハ、キアゲハ、クロアゲハなどのアゲハチョウがいることが分かりました。

第2位　オナガ（196サンプル）つばさや尾のブルーがきれいな鳥です。特に市民の方からの報告が多くよせられました。

第3位　カブトムシ（178サンプル）子どもさんに人気の昆虫らしく、小中学生からの報告が非常に多くよせられました。

第4位　ツバメ（163サンプル）並木町や西町、本多から特に多くの報告がありました。

第5位　ニホンヤモリ（144サンプル）順位は高くありませんが、すべての町から報告がよせられました。

第6位　ヒキガエル（100サンプル）夜行性のために見つかりにくいのですが、市の西側を中心に報告がよせられました。

第7位　ネジバナ（66サンプル）
第8位　どんぐりの仲間（57サンプル）